

# 子ども歌舞伎フォーラム

## 長浜曳山祭



日時

平成24年12月9日（日）14時00分～  
(開場13時30分)

\*入場料無料・申し込み不要

場 所 長浜市民交流センターふれあいホール  
住 所 滋賀県長浜市地福寺町4-36  
お問い合わせ 公益財団法人長浜曳山文化協会  
(長浜市曳山博物館)  
TEL 526-0059  
滋賀県長浜市元浜町14-8  
TEL 0749-65-3300  
主 催 公益財団法人長浜曳山文化協会  
後 援 長浜市、長浜市教育委員会  
滋賀県教育委員会



※ 駐車場には限りがありますので、出来るだけ乗り合い、または公共交通機関をご利用下さい。



# 長浜曳山祭子ども歌舞伎フォーラム

## 長浜曳山祭再発見！

### ～子ども歌舞伎にみる 祭りのちから～

長浜市民の努力と情熱によって古くから守られてきた長浜曳山祭には、地域社会の絆や郷土意識の保持、観光や地域のイメージ発信などのまちづくりという視点からの価値や、若者や子どもたちが地域社会に参加し、その一員になっていく一種の通過儀礼や世代間交流という面からの価値などがあります。

例えば、曳山狂言の練習から本番までの約20日間で子どもたちは様々な関係性を築き上げます。子どもたちを支える大人との関わりはもちろん、時間を共有することで次第に子ども同士の中にもお互いをサポートし合う関係が芽生え、子どもたちは地域社会の一員として認められたことを自覚します。これは祭りの当事者たちも無意識の内に發揮している「教育力」で、このような地域コミュニティーを形成する力が、曳山祭には顕著に見られます。長年続けられてきた、長浜曳山祭という《地域の伝統行事が持つ社会的な教育力》というべきものではないでしょうか。これまでの長浜曳山祭の歴史的文化財的な価値に加えて、今まであまり論じてこなかった、《子ども歌舞伎を中心とした長浜曳山祭の社会的な価値》《伝統芸能・行事の継承への取組が持つ社会的な教育力》といった曳山祭が持つ多面的な価値について、曳山祭の直接的な当事者だけではなく、民俗芸能関係者や社会教育・学校教育関係者、まちづくり関係者、あるいは一般の市民の方々など様々な分野の人びとが知り、考えることのできるフォーラムです。

#### ※※※※※※※※ プログラム ※※※※※※※※

##### ●映像上映会

長浜曳山祭 子ども役者たち華麗なる変身（50分）

リードコメンテーター

山路興造氏（民俗芸能学会代表理事）

##### ●意見交換会

コメンテーター

武田俊輔氏（滋賀県立大学人間文化学部講師）

北川陽大氏（～Lefa～）

桐山恵行氏（長浜市教育委員・長浜曳山祭翁山中老）

片山 勝氏（長浜城歴史博物館館長・前長浜市立西中学校校長）

